



新たな春を迎えて…

沼津市教育長 奥村 篤



春のやわらかな陽光に包まれ、令和8年度が始まりました。今年度より開校した「集明小学校」では、旧第一小学校、第二小学校、千本小学校の子供たちが、互いの思いや考えを臆することなく伝え合い、自分たちの手で新しい歴史の一步を踏み出しています。校名には「子供たちが集い、明るい未来を創造する」という理念が込められています。この理念を体現すべく、「どのような学校にしたいのか」「どのような学びや行事を大切にしていけるのか」について対話を重ねながら、「わたしたちの学校」を築こうとする姿は、大変頼もしいものです。子供たちや地域の皆様、そして先生方等が力を合わせ、新たな伝統を創り上げていくことを心から期待しております。

また、沼津市立の全36校において、令和8年度から始動した新たな沼津市教育基本構想に基づき、教育課程の編成に創意工夫を重ねながら、地域の皆様からの貴重な御意見も踏まえ、より魅力ある学校づくりが進められております。市内すべての小中学校において、これまでの取組を見つめ直し、子供たちの学びをより豊かなものとしていく契機となることを願っております。

さて、新たな教育基本構想において重視している柱の一つに、「誰一人取り残さない教育」の実現があります。学びに困難を抱える子供や不登校傾向にある子供など、さまざまな背景をもつ一人一人に寄り添い、安心して学べる環境を整えることは、私たちに課せられた重要な責務です。具体的な取組として、今年度より「校内フリースペース」を全小学校に開設いたしました。「校内フリースペース」は、さまざまな理由で教室に入りづらさを感じている児童にとって、学校の中で安心できる居場所となることを目的としています。中学校においても、現在設置している相談室の在り方について、各校の実情に応じた見直しを進めてまいります。「子供が学校に適應するのではなく、学校が子供に適應する」という理念の下、多様な児童生徒を包摂する学校づくりを一層推進してまいります。

この取組を進めるうえで、青少年教育センターと各学校との連携はますます重要となります。早期からの相談・支援体制の充実に努めるとともに、保護者や関係機関の皆様とも丁寧に情報を共有しながら、すべての子供たちを温かく支えてまいります。

新しい学校、新しい構想、新しい挑戦の春です。子供たちの可能性を信じ、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を大切にしながら力を合わせ、すべての子供たちの可能性が大きく花開く一年となることを、心より願っております。

面接相談 & 電話相談

◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など、青少年に関する相談を直接（面接）または電話で行うことができます。



1 面接相談

新学期が始まりました。新しい環境や目標に向かって意欲が高まる一方で、不安や悩みを感じることもあるかもしれません。

お子さんの様子や行動で気になること、接し方についてのお悩みなど、どんなことでも気軽に御相談ください。青少年教育センターの相談員がじっくりとお話を伺いながら、お子さんの気持ちに寄り添い、より良い関わり方を一緒に考えてまいります。青少年教育センターの詳細につきましては、二次元コードより御確認ください。



2 電話相談 愛称：やまびこ電話 055-951-7330)

◎相談受付時間……午前10時～午後7時 月～金曜日（祝日を除く）



情報コーナー

「何か不安なこと、悩んでいることはありませんか」

昨年度、相談指導学級の機能拡充をめざして設置した「わくわくルーム」は、多様な子供たちを受け入れ、安心して自分らしく過ごせる場所です。子供たちは、創作活動や会話を楽しんだり、自分の「興味のあること」に打ち込んだりしながら、自然に仲間との交流も生まれる部屋です。その中で、少しずつエネルギーを回復しながら、無理のないペースで活動に取り組んでいけるように支援していきます。

＜相談の流れ＞

- ① 電話で連絡（055-951-3440）
↓
- ② 初回面接 ※センターへお越しいただきます。
↓ 専任の相談員がお話を伺う中で解決に向けたお手伝いをします。
- ③ お子さんに応じた支援を実施

面接相談

お子さんもしくは保護者と相談員との1回1時間程度の面接を定期的に継続します。

体験活動「はばたき」

小集団での体験活動（創作、運動、調理、レクなど）を通して自立心や社会性を養います。

相談指導学級（はばたき教室）

自分で立てた計画に基づき、日課に沿って過ごします。利用には見学と体験が必要です。

◎お子さんのことで気がかりなことがありましたら、電話で面接相談をお申し込みください。

☎055-951-3440 *月～金 9:00～17:00

*電話相談「やまびこ電話」（匿名相談を受付）もございます。ぜひご利用ください。

☎055-951-7330 *月～金 10:00～19:00

秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

9:00 開所

9:00～9:50 活動1

10:00～10:50 活動2

11:00～11:50 活動3・ふれあい

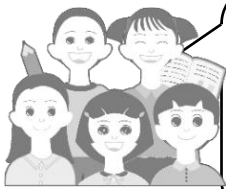
12:00～13:00 昼食・休憩

13:00～13:50 活動4

14:00～14:50 活動5

15:00～15:50 活動6

16:00 閉所



**【はばたき】
【相談指導学級】
の様子**

【体験活動「はばたき」】

- 1/14(水)新春お楽しみ会(6人)
- 1/20(火)コットンボールづくりに挑戦(5人)
- 2/6(金)楽しく身体を動かそう(5人)
- 2/18(水)紙粘土で作ろう(3人)
- 3/6(金)楽寿園へ行こう(7人)

はばたき活動は、1対1の面接相談とは異なり、他の通所生や担当以外の職員とも関わることでできる小集団活動です。

「新春お楽しみ会」では、トランプや坊主めくり、すごろくといったお正月らしい遊びで子供たちはのしゃいだ姿を見ることができました。



【2/18 乾燥中の紙粘土作品】

「楽しく身体を動かそう」では、香陵アリーナを借りて、風船バレーやラクロスなどを楽しみました。

「楽寿園へ行こう」は、昨年度最後のはばたき活動でした。4月から学校に戻る決心をした子が、これまで担当してきた職員と最後のふれあいを楽しんでいる姿も見られました。

【相談指導学級】(通称:はばたき教室)

4月から通信制高校に進学する女子がいます。合格発表後に高校へのプレ登校の機会が何回もあり、登校後にセンターに来たとき、その日のことをこと細かく嬉しそうに話してくれました。卒業を間近に控えた3月には、真新しい高校の制服に身を包んで通所し、お披露目をしてくれました。その姿はとて輝いて見え、4月からの生活を待ち遠しく思っているのがはっきり伝わってきました。

2月からセンターを利用し始めた中学校2年生の男子は、ほぼ毎日通い、数学や漢字に取り組んでいます。ただ「ふれあい」への参加は、気後れしたのか、それとも他者との関わりを望まなかったのか、全くありませんでした。無理強いせず見守ってきましたが、最後の通所日に、彼の方から「今日はふれあいに参加してみようと思う」と自発的に声を掛けてくれました。周りの子どもそんな彼に優しく接し、終始和やかにカードゲームを行うことができました。

はばたき教室にはいろいろなお子さんが通所しています。4月は、進学・進級を機に、通所するお子さんが大きく変わる時期です。新年度も子供たちがここでエネルギーを伸ばし、希望する進路に向かって歩いていけるよう、一人一人に向き合いながら支援に努めて参りたいと思います。



青少年教育センターの活動予定 (5～7月の主な活動) *天候等により、変更することがあります。

はばたき活動		補導関係	
5月8日(金)	公園で遊ぼう	5月8日(金)	補導委員会代表者会(総会)
5月26日(火)	みんなで遊ぼう	5月14日(木)	新任補導委員研修会
6月10日(水)	切り絵に挑戦	5月22日(金)	〃
6月26日(金)	佐野美術館に行こう	6月12日(金)	補導委員会代表者会
7月10日(金)	富士サファリパークとこどもの国	7月7日(火)	夏季一斉少年補導・立入調査
6月22日(月)	そよかぜ	7月13日(月)	青少年被害・非行防止街頭キャンペーン
中央補導		7月25日(土)	沼津夏まつり特別補導
5月 13(水) 19(火) 20(水) 26(火)		7月26日(日)	〃
6月 3(水) 5(金) 9(火) 16(火) 17(水) 19(金)			
7月 1(水) 3(金) 14(火) 15(水) 17(金) 22(水)			

補導記録簿より 1月～3月

- 夜の狩野川沿いで、高校男女6人に声かけ。周囲に、たばこの吸い殻が多数散乱していた。また、近くの枯葉に火がついており、火遊びの可能性もあったため、注意喚起を行った。補導委員の話は、素直に聞いていた。
- 公園の向かいにある貯水用の空き地に石や枝等を投げていた小学生中学年とそれを注意した高学年の子供たちとで軽いトラブルがあり、仲裁に入った。貯水用の空き地に柵がなく、子供たちが自由に入出入りしており、線路脇を歩いてキラメッセに抜けられると教えてくれた。危ないので、正規の歩道を通っていくよう話をした。
- 地域の交流会でどんど焼きが行われ、盛り上がっていた。中学生も5、6人いた。
- 沼津署スクールサポーターから、駅南商業施設駐車場で、高校生の喫煙があるとの情報を得て、見回ったところ、駐車車両が少ない6階東側と北側に吸い殻が散乱していた。
- 小中学校の卒業式を前にして、夜間パトロールを実施した。午後8時前、高校生が5人ほど公園に集まっていた。



補導の目

地域の少年補導委員として

前門池地区補導部長 水谷 浩明

地域における少年補導委員の役割は、地域に暮らす子供たちの安全と健全育成を支えることであり、その必要性は年々高まっています。現代の子供を取り巻く環境は多様化し、SNSによるトラブルや夜間外出、危険な遊び、さらには不審者による声かけ事案など、さまざまなリスクが存在します。家庭や学校だけでは見守りきれない部分を、地域の大人が補うことが求められており、少年補導委員はその中心的存在と感じています。日常的な声かけや巡回を通じて、犯罪や事故を未然に防ぐ抑止力も担います。また、近年、希薄になっている地域のつながりを回復させるうえでも、少年補導委員活動は重要な意味を持っていると考えています。

ここ数年間の活動を実施した結果としては、まず、非行や危険行動が確認できていないことが挙げられます。夜間の徘徊や公園でのたまり場的な行動が減少し、トラブルを未然に防ぐ効果が出てきていると感じています。さらに、少年補導委員からの声かけや地域の方の登下校の見守りにより、子供たち自身の安全意識が高まり、地域全体の防犯力向上にも寄与していると感じています。また、年に数回、問題事案が発生した際でも、小中学校や連合自治会との連携を通じて、事案等への早期対応が可能になった点も数年来の大きな成果と考えています。



【R7 夏まつり補導での門池地区の皆さん】

そして何より、日々の挨拶や交流を通じて、子供と地域の大人との間に信頼関係が築かれ、地域全体の安心感が年々高まったように感じます。こうした効果から、地域少年補導委員は今後も継続的に必要とされる重要な役割であるとともに、補導活動を実施する皆さんのやらされている感をなくして、趣旨をしっかりと理解し、継続的に地域の子供たちのために何かができるかと考え、実施して下さることを望みます。

